

- 問1 平安時代、藤原道長に代表される藤原北家は、天皇が幼少のときには「摂政」として、成人した後には「関白」として政治の実権を握りました。このように、天皇の母方の親戚（外戚）としての立場を利用して権力を振るった政治体制を何と呼びますか。（2024年 新潟県公立入試 類似）
1. 院政 2. 摂関政治 3. 武家政治 4. 律令政治
- 問2 平安時代中期、藤原道長や頼通の親子は、自分の娘を天皇の後とし、生まれた子が天皇になると、その外戚として政治の実権を握った。天皇が幼いときは摂政、成長してからは関白の職について行われたこの政治形態を何というか。（2024年 青森県公立入試 類似）
1. 院政 2. 武家政治 3. 摂関政治 4. 執権政治
- 問3 平安時代末期の歴史についてまとめられた記述において、保元の乱や平治の乱が「武家社会の先駆け」とされるのはなぜですか。その背景と理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 奈良県公立入試 類似）
1. 朝廷の権力争いに武士が動員されたことで、武力こそが政治的な決定権を持つことが明らかになったため 2. 地方の反乱を鎮圧した武士たちが、その功績によって自分たちの土地の所有権を天皇に認めさせたため 3. 元寇（モンゴルの襲来）という国家の危機に対し、朝廷に代わって武士が防衛を担ったため 4. 天皇中心の政治を支えるために、武士が軍事警察組織である検非違使を独占したため
- 問4 平安時代の出来事である「空海による金剛峯寺の建立」「藤原純友の乱」「白河上皇による院政の開始」「平治の乱における源義朝の敗北」について、これらを発生した時期の古いものから順に正しく並べたものはどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）
1. 空海による金剛峯寺の建立 → 白河上皇による院政の開始 → 藤原純友の乱 → 平治の乱における源義朝の敗北 2. 藤原純友の乱 → 空海による金剛峯寺の建立 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北 3. 白河上皇による院政の開始 → 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 平治の乱における源義朝の敗北 4. 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北
- 問5 平安時代、それまでの大陸文化の影響を強く受けた文化から、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達した背景として、最も適切な説明はどれか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
1. 鉄砲の伝来やキリスト教の布教とともに、ヨーロッパの新しい知識が伝わったこと 2. 平清盛によって日宋貿易が盛になり、宋の新しい文化が庶民にまで広まったこと 3. 足利義満が金閣を建てたことで、公家文化と武家文化が融合し始めたこと 4. 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との公的な交流が途絶えたこと
- 問6 平安時代に、日本の自然環境や当時の支配階層の生活スタイルに合わせて発展した住居のあり方について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）
1. 貴族が住んだ寝殿造は、池のある庭園に面した開放的な邸宅であった。 2. 農民の住居として、防寒を重視した竪穴住居が依然として主流であった。 3. 武士が住んだ書院造は、畳を敷き詰め床の間を設けた邸宅であった。 4. 町人が中心となって、通りに面した間口が狭く奥行きが深い町屋が普及した。
- 問7 平安時代、摂関政治によって権勢を誇った藤原氏が、当時の社会不安から広まった「極楽浄土に生まれ変わる」という浄土教の信仰に基づいて、現在の京都府宇治市に建立した阿弥陀堂の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 高知県公立入試 類似）
1. 法隆寺金堂 2. 東大寺大仏殿 3. 平等院鳳凰堂 4. 中尊寺金色堂
- 問8 現在の京都の市街地には、二条や三条といった数字を用いた通り名が残っており、南北と東西の道路が直角に交わる「碁盤の目」のような整然とした街路が見られます。このような都市計画のモデルとなった中国の唐の都と、この都を建設した天皇の組み合わせとして正しいものはどれか。（2022年 岐阜県公立入試 類似）
1. 唐の都：長安、天皇：桓武天皇 2. 唐の都：洛陽、天皇：聖武天皇 3. 唐の都：長安、天皇：天武天皇 4. 唐の都：北京、天皇：桓武天皇
- 問9 平安時代の国風文化を象徴する、日本の風景や人物を明るい色彩で描く独自の絵画様式を何といいますか。また、この様式で『源氏物語』の名場面を描いた作品の名称として正しいものを、次の語句から選びなさい。（2020年 奈良県公立入試 類似）
1. 大和絵 ・ 枕草子絵巻 2. 唐絵 ・ 枕草子絵巻 3. 大和絵 ・ 源氏物語絵巻 4. 浮世絵 ・ 源氏物語絵巻
- 問10 1053年、時の権力者であった藤原頼通が、仏教の浄土信仰に基づき、極楽浄土をこの世に再現しようとして現在の京都府宇治市に建立した建築物を選びなさい。（2020年 福島県公立入試 類似）
1. 慈照寺銀閣 2. 法隆寺金堂 3. 平等院鳳凰堂 4. 姫路城天守
- 問11 平安時代初期、遣唐使の一員として唐に渡った僧が、帰国後に京都の比叡山に延暦寺を建立し、政治の混乱を鎮めることを目指して新しい仏教を広めた。この人物は誰か。（2024年 東京都公立入試 類似）
1. 鑑真 2. 最澄 3. 空海 4. 蘭溪道隆
- 問12 平安時代後期、白河天皇が幼少の皇子に位を譲った後、上皇として自ら政治を主導した体制を何と呼ぶか、名称として正しいものを書きなさい。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
1. 親政 2. 摂関政治 3. 院政 4. 武家政治
- 問13 桓武天皇の時代から、のちの鎌倉幕府や江戸幕府の時代に至るまでの政治の拠点の変遷を考えたとき、平安京への遷都に関連する記述として正しいものを選びなさい。（2026年 岡山県公立入試 類似）
1. 桓武天皇は、海外貿易の利益を独占するために、平安京の中に管領と呼ばれる役職を置いて商業を統制した。 2. 桓武天皇は、平氏による専制政治を打破するために、源頼朝と協力して平安京の造営を進めた。 3. 桓武天皇は、六波羅探題を設置して京都の監視を強め、西国の武士を統制するために平安京を利用した。 4. 桓武天皇は、それまでの都であった長岡京から、山や川などの自然の防御に優れ、水運の便も良い平安京へ都を移した。
- 問14 平安時代末期、平清盛が現在の神戸市にある大輪田泊を大規模に修築し、瀬戸内海の航路を整備した目的として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 東北地方を本拠地とする奥州藤原氏との戦いに備え、軍船を停泊させるため 2. キリスト教の宣教師を歓迎し、ヨーロッパの先進的な技術を取り入れるため 3. モンゴル帝国（元）による襲来に備え、西日本の海岸線の防衛を強化するため 4. 中国の宋との貿易を盛んにし、その経済力を背景に政治の実権を握るため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 摂関政治	藤原氏は、自分の娘を天皇の后とし、生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の外祖父（母方の祖父）という立場を築きました。藤原道長やその子の頼通の時期に全盛期を迎え、天皇を補佐する役職である摂政や関白を独占することで、長期にわたって安定した権力を維持しました。これは後の上皇が政治を行う「院政」や、将軍による「武家政治」とは区別されます。
問2	答え 3 摂関政治	藤原氏が「摂政」と「関白」という重要な職について行った政治であるため、摂関政治と呼ばれます。院政は白河上皇などが天皇を退位した後に行った政治、武家政治は平清盛や源頼朝以降の武士による政治、執権政治は鎌倉幕府において北条氏が補佐役として行った政治です。
問3	答え 1 朝廷の権力争いに武士が動員されたことで、武力こそが政治的な決定権を持つことが明らかにになったため	保元の乱では崇徳上皇と後白河天皇の対立、平治の乱では近臣同士の対立が原因でしたが、これらすべての争いが最終的に武士の武力によって決着しました。それまで儀式や伝統を重視していた貴族たちも武士の力を頼らざるを得なくなり、政治の主役が貴族から実力を持つ武士へと交代していく決定的な転換点となったためです。
問4	答え 4 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北	平安時代初期の9世紀初め、嵯峨天皇の時代に空海が真言宗を開き、高野山に金剛峯寺を建立しました。その後、10世紀半ばの平安中期には、地方政治の乱れを背景に瀬戸内海で藤原純友の乱が起こりました。11世紀末になると、白河上皇が摂関政治を抑えるために院政を開始し、その権力争いの中で武士が中央政治に進出します。そして12世紀半ばの1159年、平治の乱で源義朝が平清盛に敗れたことで、平氏の権力が決定的なものとなりました。
問5	答え 4 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との公的な交流が途絶えたこと	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されると、それまで盛んだった中国（唐）の文化を日本の風土や感性に消化・吸収させる動きが強まりました。これにより、貴族を中心とした日本独自の「国風文化」が成立しました。
問6	答え 1 貴族が住んだ寝殿造は、池のある庭園に面した開放的な邸宅であった。	平安時代中期以降、中国の影響を強く受けた文化から、日本の独自性を生かした国風文化へと変化しました。寝殿造は、その象徴的な住居様式です。選択肢にある書院造は室町時代に登場した様式であり、町屋の発展は後の時代である江戸時代の商業発展と密接に関わっています。
問7	答え 3 平等院鳳凰堂	藤原道長の子である頼通が、父から譲り受けた別荘を寺院に改めたものです。当時の貴族の間で流行した、阿弥陀仏を信仰して極楽浄土への往生を願う浄土教の影響を強く受けており、その建築様式や内部の阿弥陀如来像は国風文化の代表例とされています。
問8	答え 1 唐の都：長安、天皇：桓武天皇	平安京は、当時の中国（唐）の都であった長安をモデルにして設計されました。北端に天皇の住まいである内裏を含む大内裏を配置し、そこから南へ伸びる朱雀大路を軸に、東西・南北に規則正しく街路を走らせる「条坊制」が採用されました。この特徴的な街路は、現在の京都市の地名や道路網にも大きな影響を与えています。
問9	答え 3 大和絵 ・ 源氏物語絵巻	中国風の「唐絵（からえ）」に対して、日本の風土や人物を題材とした絵画は「大和絵（やまとえ）」と呼ばれます。この大和絵の手法を用い、物語の情景と言葉を組み合わせた「源氏物語絵巻」は、当時の貴族文化の華やかさを伝える貴重な史料です。枕草子は清少納言による随筆であり、浮世絵は江戸時代に成立した様式であるため、混同に注意が必要です。
問10	答え 3 平等院鳳凰堂	平安時代中期、仏教の教えが衰える「末法」の時代が来るとする末法思想が広まり、阿弥陀如来にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が貴族の間で盛んになりました。藤原氏の全盛期を築いた藤原道長の子、頼通によって建立されたこの建築物は、当時の華やかな国風文化と信仰の結びつきを象徴しています。
問11	答え 2 最澄	桓武天皇による平安京への遷都後、それまでの奈良の仏教勢力の影響を避けるため、新しい政治体制を支える仏教が求められました。最澄は遣唐使として唐へ渡り、天台宗とともに密教の教えを日本へ伝え、比叡山を拠点に国家を支える人材の育成に努めました。
問12	答え 3 院政	白河天皇は1086年に位を譲って上皇となった後も、藤原氏が代々務めていた摂政や関白の影響を抑え、自ら政治の実権を握り続けました。この政治体制を院政と呼び、その後約100年にわたって上皇が政治の中心となる時代が続きました。
問13	答え 4 桓武天皇は、それまでの都であった長岡京から、山や川などの自然の防御に優れ、水運の便も良い平安京へ都を移した。	平安京は、北・東・西を山に囲まれ、鴨川や桂川といった河川を利用した水運にも適した地として選ばれました。遷都の直前は長岡京（京都府向日市など）が都でしたが、10年ほどで平安京へ移されています。平氏の打倒や源頼朝、六波羅探題、管領といった要素はいずれも後世の武家政治に関連する用語であり、8世紀末の桓武天皇の時代には存在しません。
問14	答え 4 中国の宋との貿易を盛んにし、その経済力を背景に政治の実権を握るため	平清盛は、それまでの貴族が土地の所有（荘園）によって富を得ていたのに対し、海外貿易による利益に注目しました。大型船が寄港できるように大輪田泊を整備し、日宋貿易を積極的に推進することで、大量の宋銭や高級品を輸入しました。この経済力を背景に、平氏は「平氏にあらざれば人にあらず」と言われるほどの権勢を誇ることとなりました。